

ビジネス組織と企業人適性 (女性社員・若手社員向け)																				
No.	項目	概略 / パワーポイント画面例																		
1 表紙																				
2	企業人に必要な適性条件 1	社会性ある行動基準とは？																		
3	社会的効率とは？	社会的効率と個人的効率																		
4	国民経済的観点の考え方	ビジネスでは特に経済的効率を優先する																		
5	チームワーク成立の 3 条件	チームワークで所属組織に貢献する																		
6 企業人の 適性 条件		<p><b>対外視</b> 企業人に必要な適性条件 2 文章を書き発言する上での適性</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>★ 体系的 事実認識</th> <th>✕ 断片的 事実認識</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>説明・折衝時</td> <td>全体的説得力</td> <td>部分的・時限的</td> </tr> <tr> <td>他との関連性</td> <td>説明可能</td> <td>個人的認識</td> </tr> <tr> <td>結論の提示</td> <td>論理的に可能</td> <td>論理がなく困難</td> </tr> <tr> <td>根拠の入手</td> <td>自身で原典を入手</td> <td>口コミ・視覚で入手</td> </tr> <tr> <td>最適場面</td> <td>会議・文章・資料</td> <td>業後や日常会話</td> </tr> </tbody> </table> <p>価値観の違う人が集まり、結論が求められる企業社会では、 ★体系的事実認識が不可欠 → 自分を修正して行動の要あり</p>		★ 体系的 事実認識	✕ 断片的 事実認識	説明・折衝時	全体的説得力	部分的・時限的	他との関連性	説明可能	個人的認識	結論の提示	論理的に可能	論理がなく困難	根拠の入手	自身で原典を入手	口コミ・視覚で入手	最適場面	会議・文章・資料	業後や日常会話
	★ 体系的 事実認識	✕ 断片的 事実認識																		
説明・折衝時	全体的説得力	部分的・時限的																		
他との関連性	説明可能	個人的認識																		
結論の提示	論理的に可能	論理がなく困難																		
根拠の入手	自身で原典を入手	口コミ・視覚で入手																		
最適場面	会議・文章・資料	業後や日常会話																		
7	企業人に必要な適性条件 3	体系的事実や原典知識を得るルート																		

8	演繹法と帰納法、択一と競合	企業内のルール、権限はどちらの形態か？																																																							
9	使う論理で結論は変わる 1	演習 1: 社会的弱者とは誰か																																																							
10	<b>対外視</b>	<p><b>《使う論理次第で結論は変わる 2》</b> 演習例2: マスク着用は健康的な良い習慣か?</p> <p>どちらが正しいかではなく、論理の基準次第で別の結論を出すことができるという展開を理解することで違う理由を認識し対応方法が見つかる</p> <p>日本社会 風邪や病気を人に移さず予防する良い習慣とされる○</p> <p>西欧社会 マスクの人=顔を隠す人=感染症・危険な人 とされる✕</p>																																																							
11	労働は楽しみか or 苦痛か	労働の定義と賃金の根拠																																																							
12	企業人に必要な適性条件 4	取引先・上司・同僚との信頼関係																																																							
13	企業の客観的評価の方法 1	決算推移を同業比較すると違いがよくわかる																																																							
14	企業の客観的評価の方法 2	“																																																							
15	<b>対外視</b>	<p>企業の客観的評価の方法 3 決算を3期推移で同業比較すると違いが数字でよく分かる</p> <p>三菱電機との東芝の連結決算比較(直近3期ベース) 単位: 10億円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">決算期</th> <th colspan="3">三菱電機</th> <th colspan="3">東芝</th> </tr> <tr> <th>2012/3</th> <th>2011/3</th> <th>2010/3</th> <th>2012/3</th> <th>2011/3</th> <th>2010/3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上高</td> <td>3,639</td> <td>3,645</td> <td>3,353</td> <td>6,100</td> <td>6,398</td> <td>6,381</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>225</td> <td>233</td> <td>94</td> <td>206</td> <td>240</td> <td>117</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td>112</td> <td>124</td> <td>28</td> <td>73</td> <td>137</td> <td>▼19</td> </tr> <tr> <td>総資産</td> <td>3,391</td> <td>3,332</td> <td>3,215</td> <td>5,731</td> <td>5,379</td> <td>5,451</td> </tr> <tr> <td>有利子負債</td> <td>542</td> <td>484</td> <td>537</td> <td>1,235</td> <td>1,081</td> <td>1,218</td> </tr> <tr> <td>自己資本</td> <td>1,132</td> <td>1,050</td> <td>964</td> <td>867</td> <td>868</td> <td>797</td> </tr> </tbody> </table> <p>一般的な決算比較では、Yahooファイナンスより少ない項目で端的に表示可 必要性が高いが不得意な人が多い決算数字で、社内の評価を得られる 根拠データは Yahooファイナンスから容易に入手でき、「できない」は評価× 日頃から上場企業は Yahooファイナンスを使って練習が有効</p>	決算期	三菱電機			東芝			2012/3	2011/3	2010/3	2012/3	2011/3	2010/3	売上高	3,639	3,645	3,353	6,100	6,398	6,381	営業利益	225	233	94	206	240	117	当期利益	112	124	28	73	137	▼19	総資産	3,391	3,332	3,215	5,731	5,379	5,451	有利子負債	542	484	537	1,235	1,081	1,218	自己資本	1,132	1,050	964	867	868	797
決算期	三菱電機			東芝																																																					
	2012/3	2011/3	2010/3	2012/3	2011/3	2010/3																																																			
売上高	3,639	3,645	3,353	6,100	6,398	6,381																																																			
営業利益	225	233	94	206	240	117																																																			
当期利益	112	124	28	73	137	▼19																																																			
総資産	3,391	3,332	3,215	5,731	5,379	5,451																																																			
有利子負債	542	484	537	1,235	1,081	1,218																																																			
自己資本	1,132	1,050	964	867	868	797																																																			

